



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月4日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400  
 経営企画本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有 (ホームページに掲載)  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,501	8.8	618	△14.5	705	△33.3	464	△38.9
27年3月期第2四半期	13,324	△4.8	723	△26.3	1,057	△4.0	760	13.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 533百万円 (-%) 27年3月期第2四半期 △60百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	17.23	17.23
27年3月期第2四半期	28.20	—

(注) 27年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	41,865	29,678	70.9	1,100.08
27年3月期	42,511	29,427	69.2	1,090.80

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 29,677百万円 27年3月期 29,427百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.50	—	10.50	19.00
28年3月期	—	8.50			
28年3月期(予想)			—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,200	11.8	1,900	47.9	2,000	△7.7	1,400	△5.8	51.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	29,662,851株	27年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,684,684株	27年3月期	2,684,669株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	26,978,175株	27年3月期2Q	26,978,582株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費を中心に堅調に推移しており、欧州でも個人消費や設備投資の増加により、景気を持ち直し傾向が続きました。また、国内経済は、円安・原油安等による企業業績の改善を背景に、緩やかな回復基調を維持いたしました。

当社グループを取り巻く環境について、ゲーミング市場は、北米地域では新規カジノのオープン数が減少するなど厳しい状況が続きましたが、欧州地域では堅調な需要がみられました。コマーシャル（金融・流通・交通等）市場は、日本国内ではOEM顧客からの需要が一段落するなど需要が伸び悩みましたが、北米及び欧州地域では順調に推移いたしました。一方、日本国内を対象とする遊技場向機器市場では、パチンコ業界の市場の縮小に加え、将来の規則改正に対する懸念もあり、パチンコホールへの設備投資に対する慎重な姿勢が続きました。

このような状況の下、当社グループは、前期に買収したゲーミング用プリンター事業と既存事業との相乗効果を最大限に発揮するため、両事業の製品を一体とする積極的な提案営業、マーケットシェア拡大に向けた価格戦略及びコスト削減などを実施してまいりました。また、外国人訪日客の増加に対応するため、警送会社や金融機関との協業による外貨両替サービス体制の構築を推進するとともに、アジア市場における販売拡大に取り組むなど、国内外のコマーシャル市場における事業拡大に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前述のプリンター事業の売上が加わったこともあり、145億1百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。しかしながら、利益面では、北米ゲーミング市場における紙幣識別機ユニットの販売減少や欧州におけるユーロ安に伴う減益要因が発生したことなどにより、営業利益は6億18百万円（前年同四半期比14.5%減）となり、経常利益は、前年同期に計上した為替差益が大幅に縮小したこともあって、7億5百万円（前年同四半期比33.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億64百万円（前年同四半期比38.9%減）となりました。

なお、当第2四半期の為替レートは、米ドル120.50円（前年同四半期は102.22円）、ユーロは133.85円（前年同四半期は139.84円）で推移いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを、従来の「日本地域」「北米地域」「欧州地域」「アジア地域」の4区分から、「グローバルゲーミング」「海外コマーシャル」「国内コマーシャル」「遊技場向機器」の4区分に変更しております。また、セグメント利益を、従来の経常利益ベースの数値から、営業利益ベースの数値に変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ①グローバルゲーミング

既存の紙幣識別機ユニットの販売は減少いたしましたが、ゲーミング用プリンター製品の売上が加わったことにより、当セグメントの売上高77億95百万円（前年同四半期比24.0%増）となり、セグメント利益は12億24百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

#### ②海外コマーシャル

北米金融市場向けの紙幣識別機ユニットの販売増加に加え、欧州地域での販売も堅調に推移したことなどにより、当セグメントの売上高は20億25百万円（前年同四半期比41.5%増）、セグメント利益は3億63百万円（前年同四半期比41.2%増）となりました。

#### ③国内コマーシャル

OEM顧客向けの貨幣処理機器ユニットの販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は9億43百万円（前年同四半期比29.0%減）、セグメント利益は43百万円（前年同四半期比76.5%減）となりました。

#### ④遊技場向機器

パチンコホール向けの玉貸機などの関連設備機器の販売が減少したことにより、当セグメントの売上高は37億36百万円（前年同四半期比12.6%減）となりましたが、販売製品の利益率の改善・確保に努めたことにより、セグメント利益は18百万円（前年同四半期比57.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、418億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億46百万円減少いたしました。欧州における顧客に対する納期変更などにより、「商品及び製品」が5億87百万円、「仕掛品」が3億30百万円、それぞれ増加いたしました。一方、日本国内の減収要因などにより、「受取手形及び売掛金」が6億71百万円、金型投資の下期への持ち越しなどにより「有形固定資産」が1億44百万円それぞれ減少したほか、保有株式の一部売却により「投資その他の資産」が2億15百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、121億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億96百万円減少いたしました。市況に対応した生産調整を行ったことにより、「支払手形及び買掛金」が5億21百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、296億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億50百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間では、税金等調整前四半期純利益7億4百万円、売上債権の減少6億84百万円などの資金の増加がありましたが、たな卸資産の増加7億54百万円、仕入債務の減少4億83百万円、法人税等の支払額2億71百万円などの資金の減少がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは6百万円の資金の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出1億14百万円、投資有価証券の取得による支出99百万円などにより、資金が減少した一方、投資有価証券の売却による収入1億円、長期貸付金の回収による収入89百万円などの資金の増加がありましたので、投資活動によるキャッシュ・フローは74百万円の資金の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払額2億82百万円、リース債務の返済による支出63百万円などの資金の減少がありましたので、3億32百万円の資金の支出となりました。

これらの結果に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額90百万円の資金の増加がありましたので、現金及び現金同等物は84億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億23百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績につきましては、北米ゲーミング市場における需要の回復や、国内コマース事業における新製品販売による業績への寄与が見込まれることから、平成27年5月12日付決算短信の発表数値からの変更はありません。今後の需要動向などにより適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成27年3月26日）を第1四半期連結会計期間から適用し、本実務対応報告に定める経過的な取扱いに従って、在外子会社JCM AMERICAN CORP. (連結)が平成26年1月に改正されたFASB Accounting Standards CodificationのTopic 350「無形資産－のれん及びその他」に基づき償却処理を選択したのれんについて、連結財務諸表におけるのれんの残存償却期間に基づき償却しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,834,280	8,511,172
受取手形及び売掛金	7,151,245	6,480,105
有価証券	6,653	36,602
商品及び製品	6,248,950	6,836,495
仕掛品	596,664	926,799
原材料及び貯蔵品	3,377,060	3,214,101
その他	1,085,035	1,066,657
貸倒引当金	△306,856	△349,206
流動資産合計	26,993,034	26,722,728
固定資産		
有形固定資産	5,365,248	5,220,427
無形固定資産		
のれん	8,019,099	2,809,397
技術資産	—	561,120
顧客関連資産	—	4,089,561
商標権	—	552,954
その他	87,084	77,990
無形固定資産合計	8,106,183	8,091,026
投資その他の資産		
その他	2,099,067	1,883,111
貸倒引当金	△51,563	△51,563
投資その他の資産合計	2,047,503	1,831,547
固定資産合計	15,518,936	15,143,001
資産合計	42,511,971	41,865,729
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,728,644	3,207,239
短期借入金	5,773,440	5,757,600
未払法人税等	108,716	125,312
賞与引当金	288,359	269,333
役員賞与引当金	28,300	12,100
その他	2,537,866	2,075,087
流動負債合計	12,465,326	11,446,673
固定負債		
厚生年金基金解散損失引当金	67,000	67,000
その他	551,891	674,040
固定負債合計	618,891	741,040
負債合計	13,084,218	12,187,714
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,068,964	2,068,964
利益剰余金	26,669,381	26,850,928
自己株式	△2,329,339	△2,329,365
株主資本合計	28,625,951	28,807,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,562	82,977
為替換算調整勘定	686,239	787,035
その他の包括利益累計額合計	801,801	870,012
新株予約権	—	530
純資産合計	29,427,753	29,678,015
負債純資産合計	42,511,971	41,865,729

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	13,324,058	14,501,044
売上原価	8,444,908	8,617,639
売上総利益	4,879,150	5,883,404
割賦販売未実現利益戻入額	27,899	46,840
割賦販売未実現利益繰入額	77,070	49,804
差引売上総利益	4,829,979	5,880,441
販売費及び一般管理費	4,106,534	5,261,942
営業利益	723,444	618,498
営業外収益		
受取利息	14,871	7,892
受取配当金	10,084	14,907
持分法による投資利益	12,742	7,973
為替差益	453,872	51,039
その他	33,774	26,787
営業外収益合計	525,345	108,599
営業外費用		
支払利息	13,802	17,215
買収関連費用	177,074	—
その他	1	4,708
営業外費用合計	190,878	21,924
経常利益	1,057,911	705,173
特別利益		
固定資産売却益	107	199
投資有価証券売却益	—	8,564
特別利益合計	107	8,764
特別損失		
固定資産売却損	—	4,484
固定資産除却損	16,861	13
その他	—	4,753
特別損失合計	16,861	9,250
税金等調整前四半期純利益	1,041,157	704,687
法人税、住民税及び事業税	293,876	327,836
法人税等調整額	△13,457	△87,966
法人税等合計	280,419	239,869
四半期純利益	760,738	464,817
親会社株主に帰属する四半期純利益	760,738	464,817

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	760,738	464,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,968	△32,585
為替換算調整勘定	△881,978	97,067
持分法適用会社に対する持分相当額	11,202	3,728
その他の包括利益合計	△820,806	68,210
四半期包括利益	△60,068	533,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60,068	533,028
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,041,157	704,687
減価償却費	276,598	525,239
のれん償却額	—	109,705
引当金の増減額 (△は減少)	5,688	△8,369
持分法による投資損益 (△は益)	△12,742	△7,973
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△8,564
買収関連費用	177,074	—
受取利息及び受取配当金	△24,955	△22,799
支払利息	13,802	17,215
為替差損益 (△は益)	△495,462	△202,894
有形固定資産除売却損益 (△は益)	16,753	4,297
売上債権の増減額 (△は増加)	180,290	684,097
たな卸資産の増減額 (△は増加)	903,140	△754,046
仕入債務の増減額 (△は減少)	△863,810	△483,082
未収消費税等の増減額 (△は増加)	50,799	64,449
その他	△262,776	△362,187
小計	1,005,559	259,775
利息及び配当金の受取額	24,611	22,455
利息の支払額	△13,802	△17,215
法人税等の支払額	△216,228	△271,972
営業活動によるキャッシュ・フロー	800,140	△6,958
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の純増減額 (△は増加)	80,263	△36,010
有形固定資産の取得による支出	△251,303	△114,543
有形固定資産の売却による収入	283	210
無形固定資産の取得による支出	△39,139	△9,064
投資有価証券の取得による支出	△8,677	△99,246
投資有価証券の売却による収入	—	100,030
長期貸付金の回収による収入	—	89,212
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△7,461,557	—
その他	△18	△5,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,680,148	△74,592
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	5,500,000	—
配当金の支払額	△215,248	△282,565
リース債務の増加による収入	30,240	13,644
リース債務の返済による支出	△112,490	△63,241
自己株式の取得による支出	△137	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,202,364	△332,186
現金及び現金同等物に係る換算差額	62,227	90,629
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,615,417	△323,108
現金及び現金同等物の期首残高	8,488,719	8,814,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,873,302	8,491,172

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,287,391	1,431,655	1,328,973	4,276,038	13,324,058	—	13,324,058
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,287,391	1,431,655	1,328,973	4,276,038	13,324,058	—	13,324,058
セグメント利益	1,079,904	257,018	183,204	12,001	1,532,128	△808,684	723,444

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「グローバルゲーミング」セグメントにおいて、平成26年8月29日付で、米国FutureLogic Group, LLC.の全持分を取得いたしました。取得原価の配分が未了であるため暫定的な金額ではありますが、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間において6,917,205千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,795,943	2,025,404	943,163	3,736,532	14,501,044	—	14,501,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,795,943	2,025,404	943,163	3,736,532	14,501,044	—	14,501,044
セグメント利益	1,224,478	363,007	43,065	18,896	1,649,447	△1,030,949	618,498

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「グローバルゲーミング」セグメントにおいて、平成26年8月29日付で取得した、米国FutureLogic Group, LLC.の取得原価の配分が未了であったため暫定的な金額ではありましたが、当第2四半期連結会計期間において取得原価の配分手続きが完了し、のれんを修正しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第2四半期連結会計期間において4,547,868千円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

本年4月1日付にて「グローバルコマーシャル本部」を新設したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、セグメント区分を見直し、報告セグメントを、従来の「日本地域」「北米地域」「欧州地域」「アジア地域」の4区分から、「グローバルゲーミング」「海外コマーシャル」「国内コマーシャル」「遊技場向機器」の4区分に変更しております。また、セグメント利益を、従来の経常利益ベースの数値から、営業利益ベースの数値に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

## (企業結合等関係)

## 取得による企業結合

## 1. 取得原価の当初配分額に重要な修正がなされた場合の修正内容及び金額

前連結会計年度では、FutureLogic Group, LLC. の取得原価の配分について、連結財務諸表作成時点における入手可能な合理的な情報等に基づき暫定的な会計処理を行っており、取得原価の配分は確定しておりませんでした。

当第2四半期連結会計期間において、取得原価の配分が完了したことによる、のれんの修正額は次のとおりであります。

修正科目	のれんの修正額	
のれん (修正前)	7,077,568千円	(68,230千US\$)
無形固定資産	△4,719,715千円	(△45,500千US\$)
繰延税金負債	171,846千円	(1,656千US\$)
のれん修正額	△4,547,868千円	(△43,843千US\$)
のれん (修正後)	2,529,700千円	(24,387千US\$)

## 2. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん(のれん)の金額 2,529,700千円 (24,387千US\$)

## (2) 発生原因

取得原価が受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

## (3) 償却方法及び償却期間

14年間の均等償却

## 3. のれん以外の無形固定資産に配分された金額及び種類別の償却期間

主要な種類別の内訳	金額	償却期間
技術資産	539,396千円 (5,200千US\$)	7年
顧客関連資産	3,682,415千円 (35,500千US\$)	14年
商標権	497,904千円 (4,800千US\$)	14年